

2019年5月18日 開催

第50回 病気の勉強会

本日のテーマ

スギ・ダニアレルギー への舌下免疫療法



医療法人 志成会
のぞき内科・循環器科クリニック

院長 野崎俊光

本日の内容

TODAY'S PRESENTATION

- ◆ 通年生アレルギー性鼻炎と花粉症
- ◆ 舌下免疫療法について
- ◆ まとめ

通年性アレルギー性鼻炎とは

ダニ、真菌（カビ）、昆虫、ペットの毛などが原因となり季節に関係なく下記のような症状があらわれる疾患を「通年性アレルギー性鼻炎」という。

- ・ くしゃみがよく出る
- ・ さらさらした鼻水が出る
- ・ 鼻がつまる
- ・ 鼻や目がかゆい など



ダニにアレルギー反応がみられる場合をダニアレルギーという

通年性アレルギー性鼻炎の割合

アンケート調査の結果、日本人の23.4 % の人が通年性アレルギー性鼻炎であることがわかった。



約4人に1人が通年性アレルギー性鼻炎といえます

※鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会編、鼻アレルギー診療ガイドライン2016年版（改訂第8版）
ライフサイエンス、2015

ダニが好む環境

通年性アレルギー性鼻炎の主な原因として考えられているダニは、暖かく、湿気のある布団や絨毯、畳などを好む。



その他ダニが好む場所

- ・布団
- ・押入れ
- ・カーテン
- ・ぬいぐるみ
- ・家具の裏



スギ花粉症とは

花粉症とは、植物の花粉が原因となって、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどのアレルギー症状をおこす疾患。

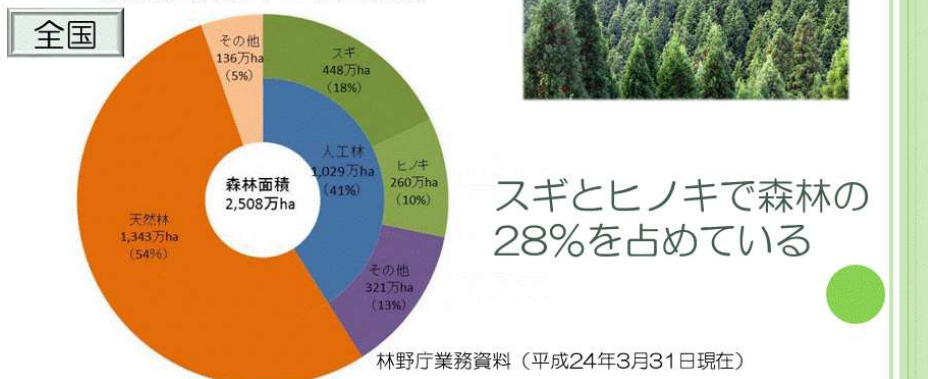
スギ花粉が原因（アレルゲン）となるものを、スギ花粉症という。



スギは人工林

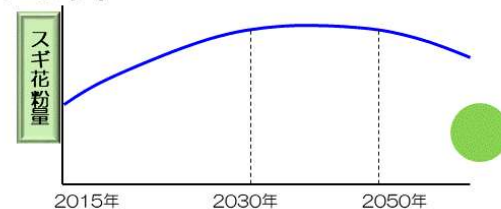
- ◆ スギ花粉は、戦後に植林されたスギの木が原因で起こっています。

森林面積に占めるスギ・ヒノキ人工林の割合



今後、花粉症患者は増加する

- ◆ スギは30年以上の成木になると花粉をたくさん飛ばすようになり、そこから30～50年くらいは花粉の最大飛散を継続させる。
- ◆ スギの30%がまだ成木に達しておらず、後20年程で全部が成木になると予測されている。
- ◆ よって、スギ花粉の飛散は2030年までは増加し、そこから2050年までピークを維持し、その後徐々に減少してゆくと予想されています。

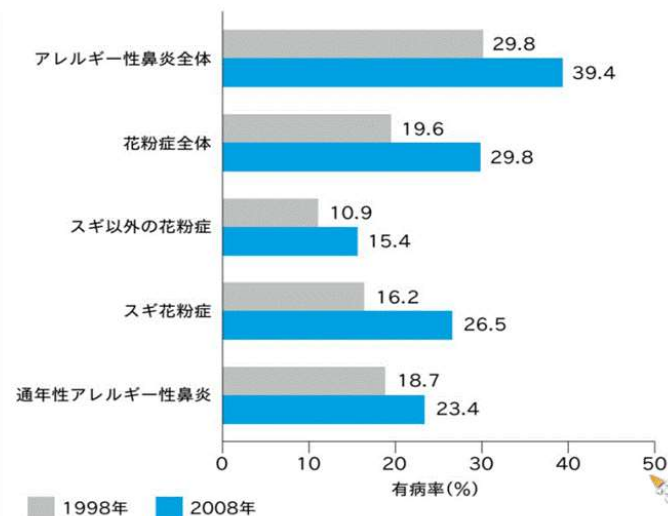


スギ花粉が増加する気象条件

昨夏の

- 夏の雨が少ない
- 暑い日が多い

アレルギー性鼻炎は増えている



(鼻アレルギー診療ガイドライン ー通年性鼻炎と花粉症ー2016年版)

スギ花粉症の治療

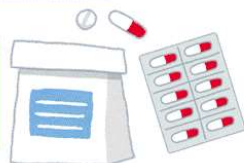
スギ花粉（アレルゲン）の除去・回避

外出時にマスクやメガネを着用する、室内や寝具などを清潔に保つなどの方法で、アレルゲンを回避する。



薬物療法

症状をおこす物質（ヒスタミンなど）の働きや鼻の中の炎症をおさえて、症状を和らげる。



アレルゲン免疫療法

体をアレルゲンに慣らして、症状を和らげる。根本的な体質改善が期待できる。



皮下免疫療法



舌下免疫療法

手術療法

鼻の粘膜を固くしたり、神経を遮断して、症状を和らげる。

(アレルゲン免疫療法の1つ)

舌下免疫療法



アレルギー免疫療法とは ①

- ◆ アレルギー免疫療法とは病因アレルギー（例えばスギ・ダニ）を繰り返し投与することで、そのアレルギーに対する感受性を低下させる治療法であり、長期寛解が期待できる治療法。

アレルギー免疫療法の種類 ②

- ◆ アレルギー免疫療法には「皮下免疫療法」と「舌下免疫療法」がある。



- ◆ 最大の違いは「舌下免疫療法」は自宅での治療継続が可能（1ヵ月毎の通院は必要）。

舌下免疫療法で使用する薬

スギ花粉症のアレルギー免疫療法薬

シダキユア® スギ花粉舌下錠



シダトレン



ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎に対する
減感作療法(アレルギー免疫療法)薬

ミティキュア® ダニ舌下錠



舌下免疫療法について ③

対象患者

- ◆ 成人および5歳以上の小児

かつ

- ◆ スギ抗原・ダニ抗原にアレルギー反応があることが確認されている方

舌下免疫療法について

④

◆検査方法：

血液検査（特異的IgE抗体検査）

皮膚スクラッチテスト

◆適応外患者：

重症の気管支喘息患者

悪性腫瘍、免疫不全状態

舌下免疫療法の開始時期

⑤

◆ダニアレルギー

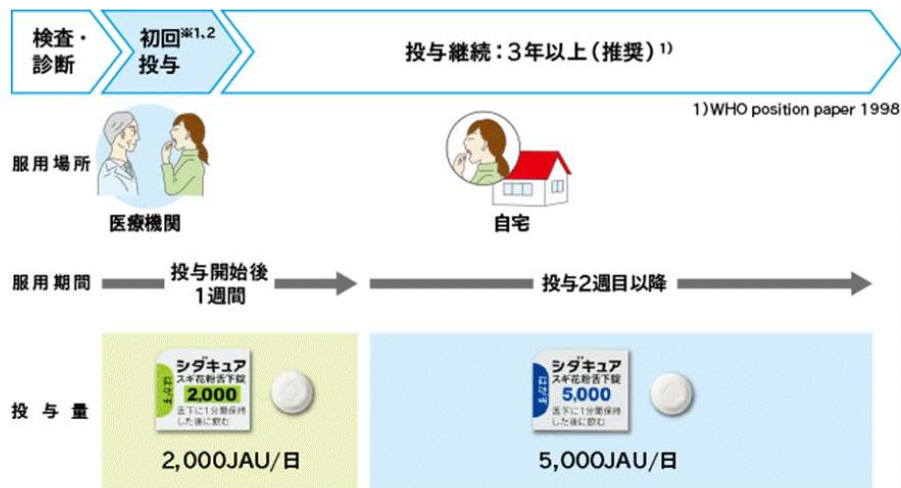
通年（いつでも）開始可能

◆スギ花粉アレルギー

スギ花粉の非飛散期（5月～12月）

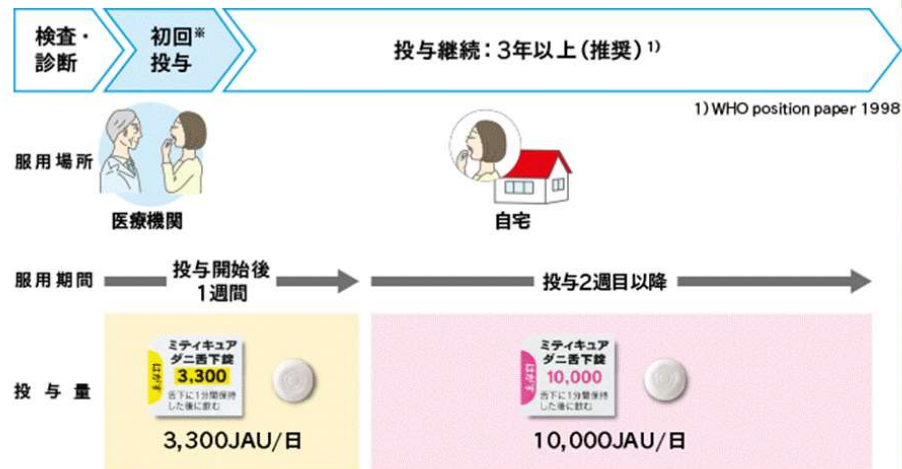
舌下免疫療法のスケジュール

◆スギ花粉アレルギー



舌下免疫療法のスケジュール

◆ダニアレルギー



服用方法

シダキュア®（スギ）・ミティキュア®（ダニ）共通

3.  指の腹で下から押して取り出す。
下から押す
4.  舌の下に置き、1分間保持した後、飲み込む。
5.  その後5分間は、うがいや飲食を控える。

服用上の注意事項

- ◆ 初回服用は院内で行う。服用後30分間、投与開始初期はアナフィラキシーの前兆症状等、副作用の発現に注意する
- ◆ 服用前後2時間程度は、激しい運動、アルコール摂取、入浴等を避ける
- ◆ 以下のような場合は、服用せず医師に相談する
 - ✓ 急性気道感染症罹患時や気管支喘息の症状が激しいとき
 - ✓ 抜歯後等口腔内の術後又は口腔内に傷や炎症等がある場合
 - ✓ 悪心、消化不良等の上部消化管障害がある場合
 - ✓ 休薬した後に治療を再開する場合
 - ✓ 自己判断で服用を中止・再開しない
- ◆ 患者が未成年である等、症状や口の中の状態を判断できない場合は、保護者が確認した上で医師と相談する

副作用について

◆ 主な副作用

- ✓ 咽喉刺激感、口腔浮腫、口腔そう痒感、耳そう痒感
- ✓ 舌下する部位付近の局所反応

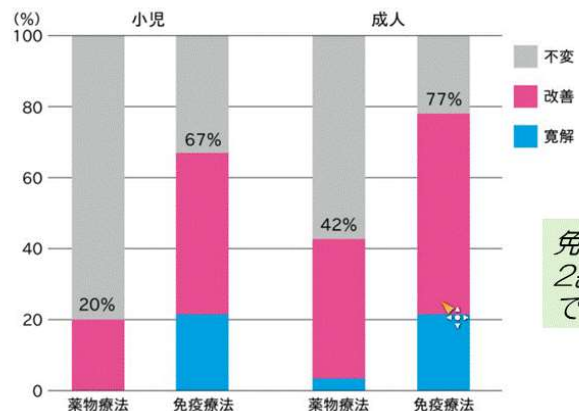
◆ 重大な副作用

- ✓ ショック、アナフィラキシー
 - ✓ ショックとは血圧低下のこと
 - ✓ アナフラキシーとは複数臓器に全身性にアレルギー症状が起こり、生命に危機を与える過敏反応。呼吸困難、全身潮紅、血管浮腫、蕁麻疹、喘息等の異常のこと。

患者への意思確認ポイント

- ◆ 長期間の治療を継続できる（3～5年が目安）
- ◆ アナフィラキシー等の副作用が起きる可能性や、発現した際の対処法を理解
- ◆ 薬の服用（錠剤を舌下で保持し〔1分間〕、唾液を飲む）を毎日継続できる。
- ◆ 治療期間中は医療機関に通院することが可能である
- ◆ すべての患者さんに効果が期待できるわけではないことが理解できる
- ◆ 効果を認めて治療を終了した場合でも、時間の経過とともに効果が弱くなる可能性があることが理解できる

アレルギー性鼻炎治療後の長期経過



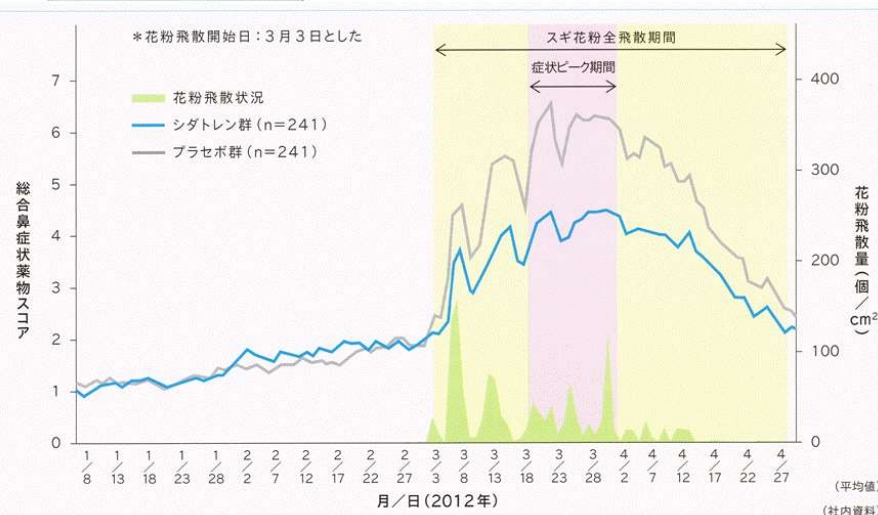
免疫療法（皮下）では
2割くらい寛解が期待
できる

対象・方法：千葉大学耳鼻咽喉科、1975～1995年に治療した患者で2005年に再受診した177名。「薬物療法のみ症例」と「免疫療法（2年以上）実施例」の比較

米倉修二、岡本美孝：アレルギー・免疫、21(7)1074, 2014

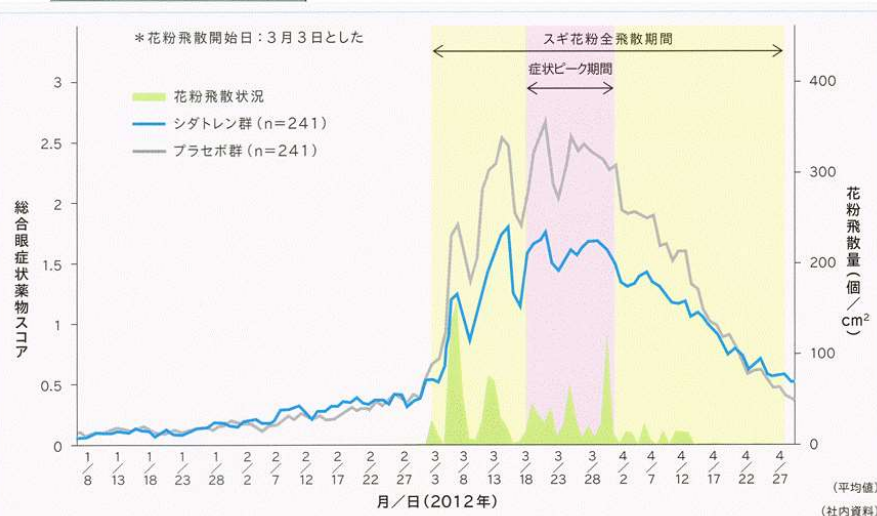
舌下免疫療法の効果

①鼻症状

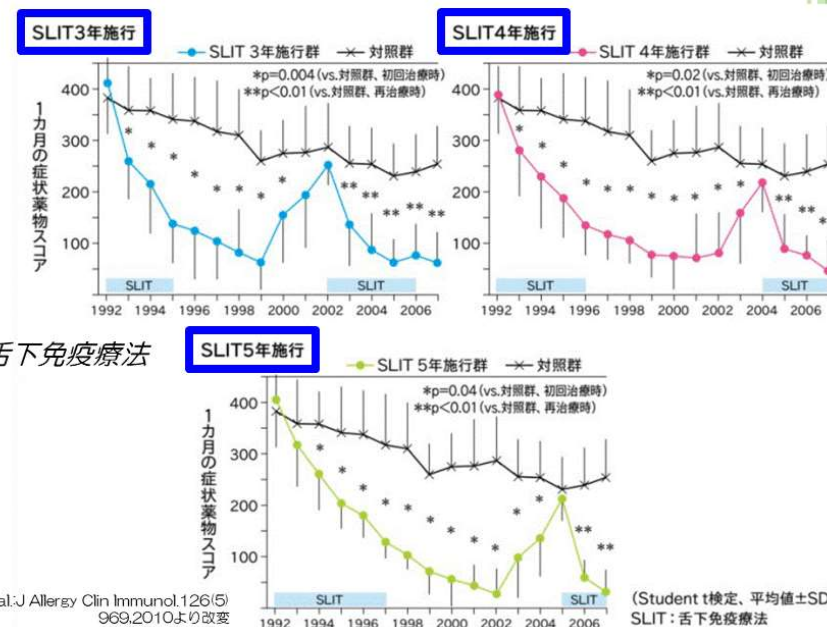


舌下免疫療法の効果

②眼症状



舌下免疫療法開始15年経過における持続効果



まとめ

- ◆ アレルギー性鼻炎は近年増加傾向にある。また、スギ花粉は今後30年は今よりも多くなる予測されている。
- ◆ 近年、スギ・ダニアレルギーに対して舌下免疫療法がおこなえるようになった。
自宅で簡便に行えるのが最大の特徴。
- ◆ 舌下免疫療法は3-5年の長期継続が必要である。
- ◆ 対象は原則5歳以上
- ◆ 舌下免疫療法は体質改善につながる治療法で、寛解も期待できる。

ご清聴
有難うございました

